



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2025年2月20日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

ビーサイズ

<https://www.bsize.com/>

子ども見守り GPS『BoTトーク』第5世代へ

「あんしんディスプレイ」搭載の新モデル登場

ビーサイズ(横浜市港北区)では、同社が手がける子ども見守りGPS『BoTトーク』において、『あんしんディスプレイ』を搭載した最新モデル(シリーズ第5世代)を2025年2月19日に発売した。

業界初となる『あんしんディスプレイ』には、時計やバッテリー残量が表示される。子どもが時間に沿って行動できるようになったり、自分で充電を行ったりと、「自分のものは自分で管理する」習慣を促すことで自立をサポートするのが目的。

さらに、音声メッセージ「トーク」がいつ届いたかがわかるように時刻も表示されるので、「誤解もなく安心です——」と同社は語る。

「送信者(パパママ)のアイコンが表示されることで、お子さまに安心と勇気をもたらします。一方

で、動画やゲーム、SNSといった機能は搭載せず、あくまで見守りに特化した安心なディスプレイです。本最新モデルは、見守りGPSとして登下校時の安全を確保することに加え、お子さまが主体的に行動しやすい環境を整えることで、日々の暮らしの中でお子さまの自立を促し、社会性を育むサポートを提供してまいります——(同社より)」

子ども見守りGPSの『BoTトーク』は、AIが移動履歴や音声メッセージから家族の行動習慣ややりとりを学習し、各家庭それぞれにパーソナライズされた見守りを実現する「AIみまもりロボット」。手のひらサイズのデバイスを持ち歩くだけで、位置情報が保護者に通

知される見守り機能に加え、BoTトークと保護者のスマートフォン間で音声メッセージの送受信を無制限に行うこともできるので、トラブルの際のSOSはもちろん、日常の連絡も家族間で取り合えるコミュニケーションツールとしても活躍している。



シニアが元気になると
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



改札通過通知サービス『まもレール』サービス対象者を拡大

～ 18歳以上すべてのユーザーが利用可能に～ — JR 東日本 —

JR東日本では、同社と都営交通、東京メトロ、セントラル警備保障で展開中の改札通過通知サービス『まもレール』について、「サービス対象者」を18歳以上の成人まで拡大する。

「このたび『まもレール』は、多くのお客さまからご要望を頂戴していた大学生のご利用を含め、18歳以上の方もどなたでもご利用いただけるようになります——」(JR東日本)

『まもレール』は、サービス対象者が『Suica』『PASMO』にて対

象駅の自動改札を通過すると、登録されている家族等のメールアドレスに電子メールで「通過時刻」「利用駅」「チャージ残額」が通知されるサービス。電子メールへの配信のほか、「JR東日本アプリ」のプッシュ通知機能での配信も利用が可能。

「子どもと保護者の安心・安全を提供する、子育てしやすい社会を目指す見守りサービスとして開始しました。2021年には、これまでの対象者である小学生・中学生・高校生から、シニア・障がいのある方にも対象者を拡大しました。さらにモバ

イルSuica・モバイルのPASMOにも対応し、現在ではJR東日本・都営交通・東京メトロの首都圏497駅でご利用いただけます——」(JR東日本)

ピッと改札、あんしん通知。



<https://www.mamorail.jp/>

いたばし子どもの居場所フォーラム2025を開催

北野小学校の児童が自ら発案したフードドライブも併設 — 東京都板橋区 —

東京都板橋区(庁舎：板橋区板橋)では、『子どもの居場所フォーラム』を開催した。(令和7年1月12日(日)/板橋区立文化会館)

当日は、子どもの居場所団体によるワークショップや子ども食堂の食事を無料で体験できる『子ども食堂食事体験』が行われ、大人から子どもまで多くの参加者が和気あいあいとした雰囲気イベントを楽しんだ。

「子どもが子どもの居場所などに対する意見を書いて投函する『子ども意見箱』には、『子どもをみんなで見守りつつ遊べる場所』や『子どもたちが自由な発想で遊びを考える場』など様々な意見が投函され、子ども食堂のトークイベントでも発表が行われました——」(同区より)

また、北野小学校の児童

が自ら発案したフードドライブが併設され、集まった食品を子ども食堂に寄付するフードドライブ贈呈式も執り行われた。



<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進
身近な**発明展**
身近な**ヒント**

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会(東京都新宿区)のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第91回 少量の水で頭冷え冷え！

『特許取得のヒンヤリ冷える帽子』



クラウドファンディングで購入可能
(2025年2月28日まで)

できて、熱中症対策ができません。釣りやゴルフなどのレジャーシーンだけでなく、猛暑の中、屋外で働く配達ドライバーや現場作業員の体を保護するため、仕事の間でも特にオススメです。また、水を入れずに、乾いたままの状態であれば、後頭部から首筋に入っている保水用の高吸水繊維が、秋冬の寒さを和らげ、運動の寒さを司る後頭部を守ってくれて、オールシーズン使える帽子として、お使いいただけます。この帽子は、日本特許取得済みで、現在は、国際特許を申請中。SDGsの地球温暖化(気候変動)の具

体温を下げるために最も効果的な「後頭部」を効果的に冷やせるよう、高吸収繊維が入ったフラップ部を水で濡らすと、水分が蒸発する際の気化熱で体温を下げてくれる帽子

『Coolbit®(クールビット)』シリーズを発売したのが、小林豊博さん(株式会社日曜発明ギャラリー代表)です。水を使って熱中症対策ができるグッズとして、暑さ対

策で有名な地方自治体のすべての3歳児に配布する等、公式に採用された実績があります。そして今回新たに紹介するのが、新しい「注水ポケット式」

い方は、とつても簡単！頭頂部にある注水口から、水を入れて、水口から、水を入れて、かぶるだけです。いつでもどこでも注水ができます、わずか50mlの水で2〜3時間、後頭部から首筋を冷やすことが

を、また、水を入れずに、乾いたままの状態であれば、後頭部から首筋に入っている保水用の高吸水繊維が、秋冬の寒さを和らげ、運動の寒さを司る後頭部を守ってくれて、オールシーズン使える帽子として、お使いいただけます。この帽子は、日本特許取得済みで、現在は、国際特許を申請中。SDGsの地球温暖化(気候変動)の具

無料プレゼント! 発明ガイドブック

『発明ライフ・入門』(希望者は下記まで)

(この商品のお問い合わせは)

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03(5366)8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

<https://www.hatsumei.or.jp/>

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野均の「シニア`萬、遊記」第89回

認知症保険について調べてみました

認知症は高齢者がかかりやすい症状です。高齢者人口の増加に伴って、2025年には約730万人が認知症になると予測されており、認知症になった際の経済的な負担をカバーする保険が注目されるようになりました。民間には介護保険があります。

介護保険は所定の介護状態となり、要介護認定された際に保障を受けられるものですが、認知症保険は認知症と診断された場合に保障を受けられるもので、介護保険の中でも認知症に特化したものが認知症保険といえます。

認知症保険は、認知症と診断された場合に保険金を受け取れる「治療保険」と第三者に損害を与えた場合の費用の補填ができる「損害補償タイプ」に分けられます。保険金・給付金の受け取り方は、「一時金」「終

身等の年金」の2種類があり、初期費用としてまとまった金額を受け取りたい場合は「一時金」、月々の費用負担を軽減したい場合は「終身等の年金」を選ぶのがよさそうです。なお、認知症保険は各保険会社によって条件や補償範囲が異なっていますので、契約する前によく調べたほうがいいでしょう。

そして、受取人が認知症になった場合、本人が請求することはできません。保険金の請求方法として以下の3つが挙げられます。

①指定代理請求特約に基づき指定代理請求人が請求する。(指定代理請求特約とは、指定された代理人が本人に代わって給付金などを請求する特約です。認知症になった受取人に代わって家族が保険金を請求することはできません。そのため、指定代

理請求特約を付けておくことは認知症対策として有効です。)

②成年後見制度の成年後見人が請求する。

③法定相続人の代表者が代理請求する。

いずれにしても、認知症になってからでは遅すぎます。認知症になる前に備えておくことが大事なのですが、ほとんどの人は自分が認知症になることを想定できないので有効な備えができていないのです。まずは意識改革が必要ですね。



*写真はイメージです

Author / 林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 <https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310